

《被災地報告》

石川県珠洲市

5月5日に震度7の地震が発生した石川県珠洲市を5月11日12日に訪問しました。珠洲市は高齢化率52パーセントであること、半島の先端で交通の便が悪いこと、以前から地震が頻発していた影響などを知りたいと思いました。珠洲市に到着した途端に聞こえて来たのは、市の防災無線の「怪しい業者には家の修復を依頼しないように」との警告アナウンスでした。被災した高齢者を騙そうという輩が跋扈しているようで、いきなりのショック。珠洲市までは「のと里山海道」という無料の自動車専用道路が主な交通ルートで、金沢駅前借りたレンタカーで2時間半のドライブでした。珠洲市社会福祉協議会では、地震発生後直ちに災害ボランティアセンターの準備を進め、11日からボランティアによる活動を開始しました。当初は奥能登2市2町(珠洲市・能登町・穴水町・輪島市)在住者又は事業所・各種団体から登録のあった人から参加者を募り、初日は48人が参加したそうです。その後、ボランティアの対象は石川県在住者に拡大され、金沢駅を出発するボランティアバスの運行が開始されました。

私達としては、今後も能登半島の地震被害について関心を寄せていきたいと考えています。

(NVNAD 理事 萩野茂樹)



写真 上：珠洲市ゴミの集積場
下：傾いた小屋

和歌山県海南市

7月15日(土)、6月2～3日の大雨によって水害に遭った和歌山県海南市の被災地に赴き、泥だしや家具の運搬をお手伝いさせていただきました。現地の方からは「1か月が過ぎてもボランティアさんが来てくれてとても嬉しい」と仰っていただき、また「50年過ごしてきてこんな災害は初めて」と言われ、昨今の災害の激甚化が進んでいると改めて感じました。

被害が発生してから1か月以上が過ぎ、支援のニーズは一段落しているところもありましたが、場所によっては、未だに片付けが終わっていない家屋もありました。これまでの被災地支援の経験をもとに、未だに手助けが必要な地域にも働きかけをして少しでもお役に立てる活動を続けていきたいと思っています。

(NVNADスタッフ 荒木正澄)



- c o n t e n t s -

- P 1 . . . 被災地報告
- P 2 . . . 新理事誕生!! / Rijicho's column / シンポジウムのご案内
- P 3 . . . Vision1.17 / 防災講座とフィールドワーク / 近畿ろうきん「笑顔プラス」
- P 4~5 . . . NVNAD通常総会報告
- P 6 . . . 授業のひとコマ / 子ども防災クラブ / ココロープ / 佐用町訪問
- P 7 . . . Nうごき・Nごよみ
- P 8 . . . 会員・寄付者・募金者のみなさま / 支援のお願い / 編集後記

新理事誕生!!**北村英夫**

元西宮市防災安全局長

さくらFM(株)前代表取締役社長



6月18日の第25回通常総会で理事就任を承認戴きました北村英夫です。定年まで勤めた西宮市役所では「水防」活動他各種の危機事態に対応。退職後は市民に情報伝達する役目の「さくらFM」で働く中で「危機管理」のあり方について思考を深めました。結果、「死者を出さない。そのための事前防災努力」が最重要と確信しています。・・阪神淡路大震災直後から今日までのNVNAD活動は素晴らしいですが、それは中核を担ってこられた方々や粘り強く応援して下さる皆さんが居られたからこそでしょう。・・

昨今の異常気象による集中豪雨は今や普通に、想定外は想定内に頭を切り替えねばならず、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻は異常の追い打ちです。・・こんな事態に疲れたり諦めたりする訳にはいきません。間もなく阪神淡路大震災から29年、そして30年。NVNADのこれまでの頑張りをも今一度エネルギー源として皆様と一緒に働かせて戴きます。よろしくお願ひします。

Rijicho's column**《8月のご挨拶》**

祇園祭に天神祭、隅田川の花火大会など、今年は3年ぶりに盛大に開催され、私たちの生活はようやく以前の姿に戻りつつあるように感じます。一方、身近な地域に目を

向けてみるといかがでしょうか。毎年行われていた盆踊りやお祭りなどの地域の行事やイベントは今も続いていますか？

地震や集中豪雨などによる被害が頻発し、南海トラフによる巨大災害も近づくなか、「みんなが助かる社会」を築いていくためには、防災・減災はもとより、地域福祉活動や青少年の健全育成の取組など、地域の中で様々な活動や各種イベントなどが活発に行われることで、人と人とのつながりやノウハウの蓄積が図られ、地域の総合力を高めていくことが大切だと考えております。

残念ながらコロナ禍による3年余りのブランクの間にノウハウの継承が難しくなったり、担い手不足などによって地域の活動やイベントなどが縮小されたり取りやめになって、結果として少しずつ地域の活力が失われ始めているのではないのでしょうか。

そこで、「わがまちの防災・減災」について考えてみることを通じて、地域の活力を高めていただきたいと考え、「あれから30年NVNAD2025プロジェクト」と題して、全7回シリーズの連続シンポジウムを企画しました。2025年1月17日には、阪神・淡路大震災から30年を迎えます。関東大震災100年の節目に当たる本年9月から2025年1月までのおよそ1年半にわたって、私たちが培ってきた災害救援活動や防災・減災の取組に関する経験やノウハウなどを、これまでご縁をいただきました皆さんにもご参画いただきながら、様々な角度から掘り下げ、具体的な提言として広く発信していきたいと考えております。

シンポジウムの様子は、後日ビデオなどでご覧いただけるようにしたいと考えておりますが、お時間が許すようであれば、ぜひ会場にも足を運んでいただき、久しぶりに懐かしい顔を拝見できれば幸いです。

(NVNAD理事長 檜垣龍樹)

《シンポジウムのご案内》

阪神・淡路大震災を契機に発足した当団体は2025年1月に30周年を迎えます。皆さまのご支援のもと積み重ねてきた災害支援および被災地支援の経験や想いを、できるだけ多くの方々に共有すること、更に、今後へ繋げていくことを目的としたシンポジウムを開催させていただきます。

「わがまちの防災・減災」について一緒に考えてみませんか？

あれから30年

NVNAD2025プロジェクト

～みんなが助かる社会をめざして～

チラシを同送しております。

ご参加をお待ちしております!!

Vision 1.17

前は、NVNADが生んだ「防災と言わない防災」というユニークな防災活動をご紹介しました。今回は、「被災地のリレー」を紹介します。これは阪神・淡路大震災以来、全国各地の被災地の皆様とずっと関わってきたからこそ見えてきた姿を表す言葉です。

「被災地のリレー」とは、被災した地域の皆さんが次に被災した地域を応援される、そして、その地域の皆さんがまたその次に被災された地域を応援されるという具合に、支援が次々とリレーされていく現象です。私たちは、誰かにお世話になればその方にお返しをさせていただきます。これは、恩返しです。被災地のリレーは、いわば恩送りです。前の世代から受け継いだことを次の世代に伝えるとか、先輩におごってもらったから後輩におごるとか、日常にも見られることです。

阪神・淡路大震災で助けていただいたNVNADは、中越地震や中越沖地震で被災された新潟の皆さんを支援してきました。すると新潟の皆さんは、東日本大震災の被災地の方々に支援されました。そして今度は東北の皆さんが熊本地震の被災地を支援されるとい

うリレーが生まれました。水害でも同様です。2012年京都府宇治市で水害が発生した時に駆けつけてみると、市役所に“兵庫県佐用町”と書かれた一輪車(猫車)やシャベル(スコップ)などがたくさん届いていました。NVNADでは2009年の佐用町水害に関わっていましたので、佐用町の皆さんの顔が思い浮かび、涙が出る思いでした。

これからも残念ながら災害は起こります。そんなときに被災地のリレーが次々と展開されれば、助け合う社会がやってきそうです。しかし、これだけ災害が多く、また、全国各地で発生する災害多発時代だとリレーも複雑になってきそうな気がします。どんな人が参加するのでしょうか?リレーは本当に全国に広がるのでしょうか?そもそも、遠くの町を支援するよりお互いにお近くだけを支援することにした方がいいのではないのでしょうか?・・・と次から次へと疑問が浮かびます。

実は、被災地のリレーについては最新の研究がいくつかあります。9月からNVNADが阪神・淡路大震災30年に向けて開催する連続シンポジウムの1つで被災地のリレーを取り上げてご紹介したいと思います。是非、ご参加ください。お待ちしております!

(NVNAD副理事長 渥美公秀)

防災講座とフィールドワーク 西宮市津田町

6月25日(日)、西宮市津田町の自治会の皆さまと、わがまちの防災について学ぶ講座「防災講座とフィールドワーク」を行いました。当日は地震や水害についての知識や、地域に潜む危険性について過去の事例も含めて説明しました。その後「もし災害が起こったらどうするか」「災害が起こる前にできることはないか」など考えながら、実際に

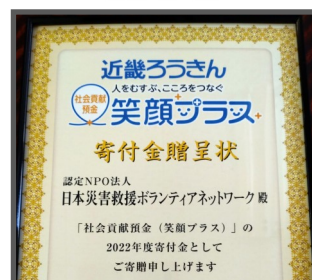


まち歩きを行いました。普段歩いている道でも、災害を念頭に入れて歩くと全く違う視点になったという感想を頂きました。その後は、まち歩きで感じたことを話し合い、実際に何が出来るかを話し合いました。今回の集まりを通して、普段の備えが緊急時に役立つことをお伝えし、地域の皆さまが安心して過ごせる環境の手助けになれば嬉しく思います。これからもわがまちの防災啓発のお手伝いをしたいと思っています。

近畿ろうきん



6月7日(水)、大阪肥後橋にある近畿ろうきん本社ビルにて、今年度の社会貢献預金「笑顔プラス」寄付金贈呈式が開催され、出席してきました。この「笑顔プラス」には、地区別団体(10団体)と近畿共通団体(2団体)の計12団体が寄付先団体として認定を受けており、当団体は近畿共通団体としてエントリーさせていただいています。この寄付金は、近畿圏内での災害支援をはじめ、日頃の防災・減災活動に有効に活用させていただいています。近畿ろうきんの職員および預金者の皆様にご心より感謝申し上げます。



第25回NVNAD通常総会報告

第25回NVNAD通常総会は、2023年6月18日（日）西宮市において開催。提案された議案は原案通り承認され無事終了しました。

I. 第24期（2022年度）事業報告（2022.4.1～2023.3.31）

第24期（2022年度）を振り返ってみると、災害救援に関しては、コロナ禍の影響により現地入りすることは今年度も難しく、これまで支援に関わってきた被災地に入ることがほとんどできなかった。そのような中でも、令和2年7月豪雨の被災地である熊本県の人吉市と球磨村には、被災者からお預かりしていた洗浄済の写真を持ち主にお返しするために、また、熊本地震で被害のあった益城町へは、継続的な活動として現地の復興住宅にお住まいの方との交流を深めるために、コロナ感染の状況が落ち着いた12月に訪問させていただいた。また、1月17日の阪神・淡路大震災の日には、今回も西宮の追悼会場からYouTubeで生配信し、その後、岩手県野田村や福島県郡山市、あるいは新潟県塩谷や刈羽村など、これまでつながりの深かったメンバーと今年度もオンライン交流会を開催することができた。

平常時の活動に関しては、活動の3本柱である①『防災まちづくり活動』として、子ども防災クラブの活動を、回数を減らして実施した。②『講演・講座活動』は、まん延防止等重点措置などの影響から件数は例年と比べ少なかったが、西宮市社会福祉協議会や岬町社会福祉協議会、近畿ろうきんや甲子園短期大学などから継続した講演依頼はあった。自主事業である「まちごと防災セミナー」については、「地区防災計画」をテーマに、自治会や自主防災組織向けの広報用のビデオ動画を制作した。③『ネットワーク活動』としては、チャリティカレンダー市は、コロナの影響により会場が確保することが叶わず、開催することを断念した。また、ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）や、兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議などについては、主に、オンラインによる参加となった。そして、OOS協定を結んでいる大阪大学（人間科学部/人間科学研究科）との関係では、12月に大阪中之島で開催された創立50周年記念事業にブースを展示したり、あるいは「災害ボランティアラボ」との連携事業として、阪大学生グループ「すいすい吹田」のよりそい隊活動への参加や、「防災ウォーキングお楽しみ会」などの企画運営に関わった。

その他の特記事項としては、10月に一般社団法人地域情報共創センターと共催で、地元兵庫県で開催されたぼうさい国体にブース出展や、11月には大阪梅田で防災パーク@そねちかという防災イベントの開催、そして、2月には大阪マラソンのチャリティパートナーとしてチャリティランナーのサポートを行った。

- （活動事業実績）
1. 災害に関する講演、講座事業 37回
 2. 防災まちづくり事業（ワークショップ事業） 19回
 3. ネットワーク事業 9回
 4. 災害救援活動事業 10回
 5. その他の活動 10回

II. 第24期（2022年度）決算並びに第25期予算

活動計算書（第24期決算及び第25期予算）「一般会計・特別会計（災害救援）」

（単位：円）

科 目	第24期予算	第24期決算	第25期予算
I. 経常収益			
1. 受取会費	727,500	685,000	737,500
2. 受取寄付金	2,150,000	2,853,753	3,180,000
3. 受取助成金等	900,000	1,572,575	600,000
4. 事業収益	2,460,000	1,163,870	3,060,000
5. その他収益	1,750	1,143	1,850
経常収益計	6,239,250	6,276,341	7,579,350
II. 経常費用			
1. 事業費	14,000,356	11,337,458	12,308,856
2. 管理費	559,352	793,022	597,152
経常費用計	14,559,708	12,130,480	12,906,008
税引前当期正味財産増減額	-8,320,458	-5,854,139	-5,326,658
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	82,000
当期正味財産増減額	-8,402,458	-5,936,139	-5,408,658
前期繰越正味財産額	18,839,993	18,839,993	12,903,854
次期繰越正味財産合計	10,437,535	12,903,854	7,495,196

Ⅲ. 第25期（2023年度）事業計画（2023. 4. 1～2024. 3. 31）

災害支援関連では、ようやくコロナ禍が落ち着きを取り戻しつつある状況なので、これまで支援に関わってきた被災地、例えば、東日本大震災の被災地である岩手県野田村や福島県郡山市をはじめ、丹波市水害の被災地や西日本豪雨災害の被災地である岡山県倉敷市などに、可能な範囲で訪問していきたいと思っている。また、地元西宮の県外避難者を対象に実施しているKSN（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）による交流行事も継続予定で、今後南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合は、大阪大学や関係団体とも連携し、救援活動を行いたいと考えている。

平常時の活動については、これまで同様①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱を中心に展開していく。特に、今年度は財源確保の観点からもNVNAD役員&事務局が中心となって、自治会や地元団体の構成員を対象に、地区防災計画作成を視野に入れた「まちごと防災セミナー」の開催や、乳幼児向けの防災アニメ「ももたろう」を活用した、幼稚園や保育所、あるいは子育て支援グループを対象とした親子防災講座の実施や、熊本地震以降関心が高くなっている「車中泊避難」をテーマにした講座なども企画していきたいと思っている。

その他、2025年1月17日に阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり、今年度から団体のPRを兼ねて「あれから30年 NVNAD2025プロジェクト」と題した7回シリーズのシンポジウムを開催していく予定である。また、チャリティカレンダー市については、会場確保の問題などを考慮し開催の有無について検討中であり、また、昨年11月に大阪梅田の地下街で実施した「防災パーク@そねちか」の開催を検討するとともに、大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センターの「災害ボランティアラボ」とも連携して、吹田市のエキスポシティで開催予定の「大阪大学共創DAY」などの事業にも関わりたいと考えている。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

- (1) 東日本大震災の支援活動
 - ①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市など）
 - ②西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）
 - ③野田村ファンクラブ
- (2) 兵庫県佐用町・丹波市水害の支援活動
- (3) 熊本地震・九州北部豪雨災害・令和2年7月豪雨災害の支援活動
- (4) 西日本豪雨災害、台風19号豪雨災害の支援活動
- (5) トルコ・シリア地震の支援活動
- (6) ココロープの支援活動

II. 次の災害に備えるための防災（広報・啓発等）の活動

1. 地域防災活動

- (1) 子ども支援事業（子ども防災クラブ、親子防災講座など）
- (2) 防災啓発事業

2. 防災意識高揚のための取り組み

- (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク（Jネット）総会
- (2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（兵庫県）
- (4) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画

- (1) あれから30年シンポジウムの企画
- (2) 乳幼児向けの防災アニメ啓発事業の企画
- (3) 車中泊避難講座の企画
- (4) 防災グッズの啓発事業（阪大や企業との連携）
- (5) 大阪マラソン事業（ウォーキング事業）

Ⅲ. 今年度末の災害救援準備金残高 1,000千円

（災害救援準備金の取り扱い細則）

国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告の上、承認を受けることとする。（近畿労働金庫50万円を含む）

※NVNADの50万円について、使用後は年度初めに戻さず0円になれば終了とする。

授業のひとコマ

@関西学院大学

6月24日(土)と26日(月)、いつもお世話になっている関西学院大学人間福祉学部の頼政先生からのご依頼で、授業の一環として講義を担当しました。主な内容は、2009年兵庫県佐用町の水害や2011年東日本大震災の津波災害をはじめ、令和2年7月豪雨災害の被災地である熊本県人吉市・球磨村での支援活動の様子について、写真を見てもらいながら説明したあと、写真修復作業を実際に体験していただきました。受講の学生さんの様子を見てみると、講義だけではなく体験活動があることで、より理解が深まるように感じました。



写真修復作業の体験



子ども防災クラブ



7月22日(土)高木小学校にて、今年度初となる子ども防災クラブの活動を行いました。新メンバー4名を迎え、まずは前年度の活動を映像で紹介し、次に学生リーダー考案の「自己紹介ビンゴ」でより多くのお友達の名前を覚えてもらい、その後は停電を想定し「ペットボトルランタン作り」に取り組みました。

ペットボトルにマジックで色を塗ったり絵を描いたり思い思いに仕上げてもらい、水をいれて懐中電灯に載せてみたところ、やわらかい光がホワンと周りを包み、子どもたちから歓声が上がりました。被災した後の過ごし方もちょっとした工夫で変わるという経験が、今後役に立つと嬉しいです。お手伝いくださったリーダーさん、ありがとうございました。



ペットボトルランタン

ペットボトル

懐中電灯

COCOROPE



5月21日(日)、ココロープ初の取り組みとなる防災講座「防災食+」を開催しました。これまでは被災地支援の一環として「みんなで作りの会」をメインに活動してきましたが、防災に関する講座の第一回目として、アルファ化米を使ったアレンジレシピとしてパエリア・五目ちらし寿司・おはぎの3品作りにチャレンジしました。

「アルファ化米がこんなに美味しくなるなんて」という驚きのお声や「防災食の概念が変わった」という方、「地域のイベントで今回の防災食レシピを紹介したい」という方もおられ、我々が目指す「情報を発信&共有し、更に広げていただく」という流れが出来たことをとても嬉しく思いました。

まだ始まったばかりの「ココから防災」ですが、災害時に役立つ講座を目指して取り組んで参ります。ご参加くださった皆さま、どうもありがとうございました。



佐用町訪問



7月29日(土)兵庫県佐用町にて「ひまわり祭り(南光地区)」と「高瀬舟まつり(久崎地区)」が久しぶりに開催され、チャコネットの学生さんたちと一緒に参加してきました。「ひまわり祭り」は南光スポーツ公園内のひまわりドームにて行われ、チャコネットはバルーンアートを担当しました。ドーム内はとても暑かったですが、たくさんの親子連れがバルーンアートを目当てに来てくれました。犬やお花、刀など子どもたちの希望を聞いて学生さんが作って渡すと、子どもたちはとても嬉しそうでした。

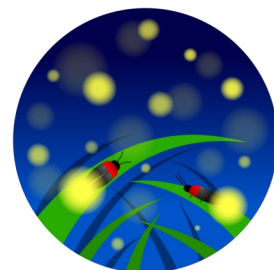
また、夜には久崎の金比羅神社にて「高瀬舟まつり」があり、チャコネットはヨーヨー釣りやバルーンアートを担当しました。コロナにより4年ぶりの開催だったこともあり、会場内はとても賑わっていました。佐用町の皆様、大変お世話になりました。



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。 (2023年5～7月)

- | | | |
|----|--------|---|
| 5月 | 8日 | 伊丹市水害現場視察（兵庫県）
通常理事会 |
| | 11～12日 | 珠洲市水害現場視察（石川県） |
| | 17日 | ニュースVol.134発行 |
| | 18日 | 大阪大学オープンプロジェクト報告会（オンライン） |
| | 20日 | NVNAD会計監査 |
| | 21日 | 防災まち歩き（大阪市住之江区）
ココロープ「災害食調理実習」（西宮市） |
| 6月 | 7日 | 防災ウォークラリー（大阪府羽曳野市）
近畿ろうきん全体会議（大阪市西区） |
| | 14日 | BCP研修会（オンライン） |
| | 18日 | NVNAD通常総会 |
| | 24日 | 関西学院大学フィールドワークⅠ（西宮市） |
| | 25日 | 津田町まちごと防災セミナー（西宮市） |
| | 26日 | 関西学院大学フィールドワークⅡ（西宮市） |
| | 27日 | ひょうごん総会（神戸市） |
| 7月 | 8日 | EXPOシティ防災イベント（大阪府吹田市） |
| | 11日 | 防災講座（兵庫県尼崎市） |
| | 15日 | 海南市災害支援活動（和歌山県） |
| | 22日 | 子ども防災クラブ（西宮市） |
| | 26日 | BCP研修会（神戸市） |
| | 29～30日 | 佐用町訪問（兵庫県佐用町） |



Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

- | | | |
|-----|-----|------------------------------------|
| 8月 | 1日 | 近畿ろうきん講座（兵庫県姫路市）
NVNADシンポジウム打合せ |
| | 17日 | 近畿ろうきん講座（大阪府吹田市）
ニュースVol.135発行 |
| | 23日 | 近畿ろうきん講座（大阪府堺市） |
| | 26日 | 防災講座（兵庫県丹波市） |
| | 9月 | 2日 |
| 3日 | | ココロープ「災害食調理実習」（西宮市） |
| 9日 | | 近畿ろうきん講座（大阪府豊中市） |
| 10日 | | 災害ボランティア養成講座（西宮市） |
| 14日 | | 関西学院大学災害ボランティア養成講座（西宮市） |
| 22日 | | 甲子園短期大学災害ボランティア授業（西宮市） |
| 24日 | | 生協まつり（大阪市鶴見緑地公園） |
| 10月 | 14日 | 子ども防災クラブ（西宮市） |



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2023年5月1日～7月31日)

■会員のみなさま

個人正会員：「継続」松本清子、矢守恭代、定藤美雪、矢野正史、舟知正、花岡豊、荻原迪子
齊藤秀子、桐山裕文、森川博雄、魚島侑子、梶昌代、渥美直子、山下佳子
林幹高、片岡幸壺、鶴田芳樹、ハツ塚としえ、米山大吾、田中正秀

個人賛助会員：「新規」野村めぐみ

「継続」小栗優子、小村英子、狩野宣敬、狩野順子、志賀龍二、竹下養子、
御船鋼、森永壽、石川智子、谷原和憲、吉岡洋子、三浪治子、平川りつ子
荒銀昌治、荒銀和子、鈴木憲一、宮城久代、長野理恵子、渥美杏奈、渥美樹里
菅野秀徳、菅野好恵、山田明子、吉岡啓次、小林良彦、小林静子、加藤敬蔵
中井亜沙美、武田育子、柴藤成利、渡邊鶴子、大里恵子、平井芳明、古菌康恵
佐々木真次、掛水須美枝、ハツ塚一郎、葉千鶴子、青木邦博、青木博子
田中恵子、谷孝大、小溝健二、山田和子、掛田紀夫、二宮英夫、小山美帆
戸口始、戸口裕子、戸口京子、朝井朋子

団体正会員：「継続」宗教法人真如苑

法人正会員：「継続」日本労働組合総連合会大阪府連合会

法人賛助会員：「継続」株式会社京佐興産

■寄付者のみなさま ※ココロープ宛のご寄付も含まれます。

定藤美雪、舟知正、魚島侑子、宮城久代、梶昌代、山田明子、小林良彦、小林静子
吉岡啓次、掛水須美枝、渡邊鶴子、木下和寛、古塚純枝、西村桂子、小溝健二
竹林順子、掛田紀夫、二宮英夫、鶴田美紀代、ひでぼ一、風雪月花Snow、ちびくん
日野口素邦、戸口始、戸口裕子、戸口京子、朝井利彦、朝井朋子
大阪マラソン組織委員会事務局、近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様
ヤフー(株)、ソフトバンクかざして募金(寄付者)の皆様、Kifu-Rope購入の皆様

■募金者のみなさま ナカヤマヨシユキ

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、お振込みくださった方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

NVNADを支援して下さい

当団体は、災害救援支援活動や防災まちづくり活動、ネットワーク活動、災害についての講演、講座、セミナーなどの活動を行っております。皆様から頂いた寄付は、この活動を継続していくために役立ててまいります。ぜひともご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【振込銀行】 三井住友銀行 西宮支店 普通 No. 7833406
(名義) 特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

当団体は認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は税制優遇を受けることが出来ます。
1月中旬～下旬に寄附金受領証明書を送付させていただきます。

銀行振込ではカタカナ名しか把握できませんので、お手数ですがご住所とお名前をお知らせ下さい。
TEL 0798(34)9011 FAX 0798(34)9022 e-mail:nishinomiya@nvnad.or.jp

編集後記

今年の夏は、日本各地で連日猛暑日が続いています。最近、国連のグテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わりました。『地球沸騰化』の時代が到来したのです」と言及しており、この暑さは日本に限ったことではなく、世界的に異常気象となっています。これからの季節気になるのが台風の発生です。気温と海面水温の上昇は連動しており、海面水温が高くなると、台風の発生頻度が増えたり巨大化につながる可能性もあるので、夏から秋にかけて最大限の注意と備えが必要です。(H.T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0853 兵庫県西宮市津田町3-43 TEL 0798(34)9011/FAX 0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：檜垣龍樹